

日本一もぐら駅

JR上越線

発行者

齋藤 成沙

「日本一のもぐら駅」といふ言葉が気になったので、実際に行って来ました。群馬県に父の家があります。父は「日本一のもぐら駅」といふ言葉が気になったので、実際に行って来ました。



- 土合
- 湯檜曾
- 水上
- 上牧
- 後閑
- 沼田
- 岩本
- 津久田
- 敷島
- 波川
- 八木原
- 群馬新橋
- 新前橋
- 井野
- 高崎

土合駅とは、群馬県利根郡みなかみ町湯檜曾にあるJR東日本上越線の駅です。群馬県内の普通の駅としては、最北端に位置する。下り線の土合駅ホームから改札口まで階段は338m、42段あります。階段を上り、約10分程度の連絡通路を経て、改札口になります。また、下りホームの標高は海拔287m、駅舎の標高は287mあります。改札口までの所要時間は約10分要します。



下りホームが新清水トンネル内にあり、駅舎(地上)から10分ほど階段をおりないと到達できないことから、**日本一のもぐら駅**として親しまれている。関東の駅百選認定駅の一つ。

編集後記

初めてもぐら駅に行くと、も階段がつかれました。気温は書いてなかつたのですが、半そででは肌寒い感じだったので18度ぐらいかな？と思いました。でも階段を昇って行ったら、たんだん暑くなってきました。階段の横に地下水が沢山流れていて不思議に感じました。

ちなみに、1日の平均乗車人員は、20人程度である。夏季や秋季には、谷川岳などへの登山客を中心として一定数の利用客があります。また、下りホームを目当てに訪れる観光客も増えている。1982年の上越新幹線開業や1985年の関越自動車道開通の影響を受けて乗降客が減少したことにより、1985年3月から無人駅化しました。